

生命科学ネットワーク

第11回東京大学生命科学シンポジウム

平成23年6月4日(土)、安田講堂及び工学部2号館にて、第11回東京大学生命科学シンポジウムが新領域創成科学研究科の大矢禎一(教授)シンポジウム実行委員長のお世話で開催されました。東京大学の生命科学シンポジウムは今回で第11回目を迎えます。生命科学ネットワークは、生命科学に関わる学内16部局で構成され、研究者交流や教科書作成などの活動を通じて、研究教育支援に取り組んでいます。

当日は梅雨にもかかわらず晴天の空の下、高校生から60歳以上の方まで、学内外あわせて約845名の参加があり、どの会場も賑わいを見せました。シンポジウムは、講演の部・部局紹介ブース(安田講堂)、ポスターセッションの部(安田講堂、工学部2号館フォーラム・展示室)から構成されました。講演の部は松本理事の挨拶に始まり、本シンポジウムが「生命科学を学ぼうとする学生の皆さんへの進路選択ガイダンス」「研究者同士の異分野交流の場」「一般の皆様へ生命科学への関心を持っていただく場」という目的を持っていることや、多様な生命科学研究の最先端を行っている本学において、生命科学全般を横断する形での集まりは他にはなく、東京大学生命科学ネットワークだからこそ開催できる催しであることを、お話されました。



開会の挨拶をされる松本理事

今回の講演の部では、生命科学ネットワークを構成する16部局のうち8部局から講演者の先生にお越しいただき、前半では、細胞内の構造体や物質を見ることの素晴らしさをご講演いただき、次に我々の健康と結びつきが深い自然免疫や新しい糖鎖合成法に関する最先端の研究をお話いただきました。後半では、魚類や昆虫の進化に関わる研究から、双生児、次世代シークエンサーを使った研究まで、生命科学の広がりとお深さについて、ご講演いただきました。参加者アンケートでは「最先端に触れることができ、勉強になりました」との意見が多く

寄せられ、非常に広範な生命科学のエッセンスを楽しんでいただけたように思います。最後に、長澤生命科学ネットワーク長の、「次回は、昨年講演を行った8部局の講演を行う予定ですので、またいらしてください」との言葉と共に、講演の部は盛況のうちに終了いたしました。



講演の部閉会の挨拶をする長澤ネットワーク長

安田講堂ロビーには、16部局の紹介ブースが設置され、パンフレットや成果物集などが展示されました。特に学生の方々から、「進路選択の参考になりました」という感想が寄せられました。用意したパンフレットの山がなくなってしまうブースが出るほど、賑わいをみせていました。

特に、ポスターセッションでは前回は上回る304題もの発表があり、会場のいたるところで活発な議論が行われました。各部局から304題の演題登録があり、3つの会場のあちらこちらで活発な議論が繰り返されていました。アンケートにも「とてもいい刺激になりました」「様々な研究分野を見ることができて興味深かったです」との意見が寄せられ、このシンポジウムをきっかけに異なる分野、異なる所属の研究者・学生間の交流の芽が生まれたものと感じました。



ポスターB会場(工学部2号館フォーラム)

今回初の試みとして、学生や研究員等若手研究者を対象に、ポスター賞を設けました。各部局の教員がポスターを審査し、前回にもまして活発な議論が繰り返されました。

ていました。アンケートにも「モチベーションが上がりました」との意見が多く寄せられました。

講演の部終了後、生協第二食堂においてポスター賞授賞式および懇親会が開催され、歓談に華が咲き、盛況のうちにシンポジウムは終了しました。



長澤ネットワーク長とポスター賞受賞者の皆さん

アンケートでは、回答者のほとんどが「次回もシンポジウムの企画を希望する」と回答され、概して満足していただけたと思います。多くの方にお越しいただき、準備をしてきた私たちも、本シンポジウムが生命科学研究者間の横断的な交流や、学生の進路選択、一般の方々に関心を持っていただく場として一助になったと感じ、大変うれしく思っています。

最後に、ご講演いただいた講演者の皆様、座長を務めていただいた入村達郎教授、ポスター賞審査員の皆様、開催の準備にご協力いただいた教養教育高度化機構生命科学高度化部門の教員の皆様に深謝いたします。

シンポジウムのホームページ (<http://www.todaibio.info/>)にて当日配布した講演プログラムと同等の講演紹介がご覧いただけます。また、ポスター発表要旨集のPDFファイルや、ポスター賞受賞者およびポスター賞審査員の一覧をご覧いただけます(学内限定)。

<ポスター賞受賞者>

種 良典 (工学系)

PA-008 生分解性ナノメッシュカプセルによる再生医療用3次元スキャホールドの開発

宇佐美 篤 (薬学系)

PA-042 蛍光 Ca²⁺センサータンパク質 G-CaMP4 による神経活動の可視化

渡邊 可奈子 (理学系)

PA-058 Novel essential genes for a latent process of cell differentiation as common predictors for neurite extension

根岸 孝寛 (新領域)

PA-065 細胞壁合成チェックポイントにおける転写因子

の細胞周期依存的活性化

深谷 雄志 (分生研)

PB-021 Function of poly(A)-binding protein is dispensable for microRNA-mediated deadenylation and translational repression

波多野 良 (医科研)

PB-034 A Novel Function of CD26-Mediated Costimulation in the Cytotoxic Activity of Human CD8⁺ T Cells in Xenogeneic Graft-Versus-Host Disease Mice

五来 武郎 (医科研)

PB-049 F1-ATPase のインフルエンザウイルス粒子出芽への関与

藤田 生水 (理学系)

PB-065 分裂酵母の細胞質ダイニンによる核往復運動の発生機構の解析

小嶋 良輔 (薬学系)

PB-090 分子内 BRET を利用した新規近赤外生物発光基質の開発

今村 菜津子 (薬学系)

PB-163 恐怖記憶の増強に関する行動学的解析

小沼 貴裕 (農学)

PC-006 フタホシコオロギ(*Gryllus bimaculatus*)における摂食行動と脂質動員ホルモンの脂質代謝の制御機構との関連性

山口 淳一 (新領域)

PC-033 カイコ突然変異体「褐円」から明らかになる *wnt1/wingless* の幼虫スポット紋様獲得への役割

以上、12名

<ポスター賞審査員>

中村元直 (医学系)

喜多村和郎 (医学系)

小川純人 (医学系)

市川幹 (医学系)

金野智浩 (工学系)

馬渡和真 (工学系)

山下 朗 (理学系)

伊藤恭子 (理学系)

朴 民根 (理学系)

経塚淳子 (農学)

潮 秀樹 (農学)

正木春彦 (農学)

若杉桂輔 (総合文化)

道上達男 (総合文化)

松田良一 (総合文化)

千原 崇裕 (薬学系)

秋光 信佳 (薬学系)

藤原晴彦 (新領域)
長崎正朗 (情報理工)
齋藤春雄 (医科研)
伊庭英夫 (医科研)
酒井康行 (生研)
末次志郎 (分生研)
今井裕記 (分生研)
小島茂明 (大気海洋研)
渡邊克巳 (先端研)
児玉龍彦 (先端研)
以上、27名